

《履修上の留意事項》実習内容に変更はないが、実習内容の順番が前後する可能性あり（順番に変更が生じる場合は事前に連絡する）。

《担当者名》 教授 / 飯嶋 雅弘 助教 / 富田 侑希 名誉教授 / 佐藤 元彦 非常勤講師 / 村井 茂 非常勤講師 / 江上 公子 非常勤講師 / 葛西 克之 非常勤講師 / 保田 好隆 非常勤講師 / 小久保 幸宏 非常勤講師 / 鳥谷 奈保子	講師 / 六車 武史 助教 / 川村 尚彦 名誉教授 / 溝口 到 非常勤講師 / 北野 敏彦 非常勤講師 / 石野 善男 非常勤講師 / 千枝 和巨 非常勤講師 / 宇賀 茂 非常勤講師 / 林 一夫 非常勤講師 / 湯浅 壽大	助教 / 中尾 友也 非常勤講師 / 小笠原 潤治 非常勤講師 / 横山 一徳 非常勤講師 / 小林 宏樹 非常勤講師 / 山口 伸人 非常勤講師 / 上地 潤 非常勤講師 / 今野 正裕
--	---	--

【概要】

歯科矯正学実習では、講義によって学習した歯科矯正学の理解を深め、それを実際の臨床に応用するための基礎的な知識を習得することを目的とする。そのため本実習は、混合歯列期前歯部反対咬合の実際の症例に対して診断、治療計画の立案、治療経過の再評価を行い、さらにタイポドント模型上での舌側弧線装置、床矯正装置の作製の実習を行う。

【学修目標】

歯科矯正学において必要な診査項目、基本的な診断方法及び簡単な矯正装置の製作法、使用法について十分に理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	診断学実習 - (1)	初診時の資料を学生に配付し、各所見、分析値及び重ね合わせ図から、その症例の分析、診断方法についてマルチメディアシステム（PC）を介して学習する。 ・ 患者の矯正歯科治療開始前の資料（第1回検査時）の配付 ・ 診断学実習の流れの説明 ・ マルチメディアを介した症例の説明 ・ パノラマエックス線写真の分析 ・ 模型分析	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
2	診断学実習 - (2)	・ セファロ分析1 （透写図の作成、アベレージング） ・ セファロ分析2 （計測点および基準平面の設定、図形分析、角度および線計測） ・ セファロ分析のまとめ	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
3	診断学実習 - (3)	・ 成長分析1 ・ 総合診断（問題点の抽出、診断要約） ・ 治療計画立案 （問題点の整理、治療目標の設定、治療時期と方法の決定） ・ 治療ゴールの設定	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
4	基本手技	舌側弧線装置や保定装置の製作に必要なワイヤーの屈曲や自在鑑着の基本的方法を学習する。 ・ 治療学実習の説明 ・ 基本手技（線屈曲） ・ 基本手技（鑑着）	飯嶋 雅弘 六車 武史 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
5	実習試験	基本手技実習で行ったワイヤーの屈曲や自在鑑着の基本的手技の試験、ならびに実習内容に関連する筆記試験を行う。	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			川村 尚彦 非常勤講師
6	診断学実習 - (1)	<p>第一段階治療終了時（第 2 回検査時）の資料を学生に配付し、各所見、分析値および重ね合わせ図から、その症例の治療経過およびその評価についてマルチメディアシステム（PC）を介して学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マルチメディア（PC）を介した治療経過の説明・第 2 回検査時の検査内容と検査所見の記載 ・ パノラマエックス線写真分析 ・ 模型分析 ・ セファロ分析 <p>（マルチメディアを介した透写図の作成法と重ね合わせ図の作成法の説明）</p>	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
7	診断学実習 - (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ セファロ分析 <p>（計測点および基準平面の設定、図形分析、角度および線計測、セファロ分析のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成長分析 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
8	診断学実習 - (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治療結果の評価、レポートの完成と提出 ・ 治療計画の再立案 ・ 長期管理の実際についての説明 ・ 資料整理 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
9	舌側弧線装置の作製（ 1 ）	<p>混合歯列期において多用され、歯の移動、保険、保定等使用頻度の高い舌側弧線装置の作製方法を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイポドント、材料および器具の確認 ・ バンド試適、印象、作業模型の作製 ・ 作業用模型への設計線の記入 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
10	舌側弧線装置の作製（ 2 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持装置（STロック）の鑑着 ・ 脚部、主線の屈曲 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
11	舌側弧線装置の作製（ 3 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脚部、主線の屈曲、補助弾線の付与 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
12	床矯正装置の作製（ 1 ）	<p>床矯正装置の目的と作製方法を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hawley保定装置の目的と製作手順の確認 ・ 作業用模型への設計線の記入 ・ 主線および単純鉤の屈曲 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
13	床矯正装置の作製（ 2 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主線および単純鉤の屈曲 ・ レジン床の築盛 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
14	床矯正装置の作製（ 3 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジン床の築盛と研磨 	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師
15	医療面接	初診時精密検査で得られた資料を基に、医療面接の基礎を理解する。 ・ 不正咬合の説明 ・ 矯正装置の説明 (リンガルアーチ、バイオネーター、急速拡大装置等)	飯嶋 雅弘 六車 武史 中尾 友也 富田 侑希 川村 尚彦 非常勤講師

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習実技試験（20％）、実習筆記試験（20％）、製作物（50％）、その他（実習態度、レポート、学習意欲）（10％）
・ 実習時間に講義を行うこともあるが、すべて実習の出席として評価する。

【教科書】

「歯科矯正学第6版」 医歯薬出版
「歯科矯正学実習書」 本学歯科矯正学分野 編集

【参考書】

「最新歯科矯正アトラス 臨床編1」 医歯薬出版
「最新歯科矯正アトラス 臨床編2」 医歯薬出版
「新しい歯科矯正学 第3版」 永末書店
「歯科矯正マニュアル」 南山堂

【学修の準備】

指定した教科書、実習書および参考書を読み、専門用語の意味、器具と材料の名前、術式等の実習内容を予習しておく。（30分）

- ・ 実習内容の理解を深めるため、予習および復習の小テストを実施する。
 - ・ 実習器材等の準備不足により実習参加不可能とみなした場合、実習停止とする。
- 実習毎に実施した内容を元に復習をする。（60分）

【実務経験】

実習担当教員全員が歯科医師

【実務経験を活かした教育内容】

本学付属クリニック、附属病院およびその他の医療施設での実務経験を活かし、矯正治療に関する事柄を教える。